

教育理念	「学力がつけやたいことを極める」新しい高校	当年度の課題
目標(テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力を再生して(学力回復教育)高校を卒業</li> <li>学ぶ楽しさを体験する科学的授業で、生涯を学ぶ人に</li> <li>自覚めよ！自自力。やりたいことにチャレンジ</li> <li>徹底的な個人指導と親身なサポート体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に基づく、質の高い教育を展開できるよう、レポート及びスクーリングの内容の更なる充実と教職員の指導体制の強化に努める。</li> <li>いじめの防止等に関する措置を実効的に行うためにいじめ対策委員会を運営する。</li> <li>学校運営に関わる関係者評価を実施し、より質の高い学校運営をする。</li> </ul>

※評価基準…A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:出ていない

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	改善策
学校運営	教育課程	教育目標	多様な生徒の学力・体調面など、個々の状況に応じた適切な支援・指導を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の不足している生徒への個別対応については、本年度はレポート学習を仙台・高崎・宇都宮・新潟で実施した。</li> <li>レポートに対する生徒の理解度の把握に努め、更なる学習効果の向上に取り組みたい。</li> <li>教育課程は標準的な履修科目以外の科目も選択できるように構成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神的及び学力的に不安のある生徒の平常の学習状況については、限界もあるが、担任・各科目担当教員を中心に、全職員で支援できる体制を更に整備していく。</li> <li>レポート学習については、支援体制(主要都市でのレポート学習の開催等)を更に拡充・整備していく。</li> <li>スクーリングの各授業については、学習指導案の提出とともに授業参観・評価をし、充実・向上を図る。</li> </ul>
		学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に準拠しているか。また、その編成・実施の考え方について、教職員間で共有ができていないか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の編成、実施の考え方についての理解はできている。より効果的で質の高い面接授業を求め、不断の努力をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒との履修相談にあたって、生徒の希望をよく聞き、希望に応じた履修登録となるよう、引き続き努める</li> </ul>
	教職員連携	組織運営	校務分掌や各委員会、主任体制などが適切に機能するなど、学校運営・責任体制が整備されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に引き続き、組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用され、新任教員へのサポートも適切に行われた。</li> </ul>	
		教員・教科関連連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築された教育活動が行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員間の相互理解・信頼関係に基づいた教育活動が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間、事務職員間の連携・情報共有のため、引き続き、職員会議やスクーリング会議を更に質の高いものにしていく。</li> </ul>
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があるか。また、それらの機会を通して、相互理解及び連携がとれているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な職員会議やミーティングを行っており、教員と事務部門での情報共有・意見交換の場面設定も行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各主任、主事が適宜自発的に会議を招集していく体制づくりを行い、情報共有や意思統一を図っていく。</li> </ul>
	学校設置会社及び財務関係	学校設置会社の役員及び株式の状況	学校を運営するにあたり適切なものとなっているか。また、その状況は学校設置会社の役員及び株式の状況が事業報告書に記載されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校設置会社の役員及び株式の状況が事業報告書に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。</li> </ul>	
		学校の経営に必要な財産等の状況	学校を運営するにあたり適切なものであるか。また、その状況は学校の経営に必要な財産等の状況が事業報告書に記載されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校設置会社の経営及び財産に関する状況が事業報告書に適切に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学支援金に係る事務について、学校事務職員による業務内容の習熟を図るとともに、学校設置会社の職員による学校事務職員のサポート体制を採り、引き続き適時性・正確性を確保する。</li> </ul>
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務について点検体制を確立し適正に執行しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学支援金については適正に執行されているが、事務体制を維持し、引き続き適時性・正確性を確保する。就学支援金の支給要件につき誤解のないよう、募集要項の記載を改めた。</li> </ul>	
	施設及び設備	面接指導等を実施する施設・設備	面接指導等を実施する施設・設備が教育上適切であるか。また、それが事業報告書に記載されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接指導等は特設地域内の学校で適切に行われている。</li> <li>添削指導については本校専任の教員が行うようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接指導等、より適切な施設・設備で実施できるよう努める。</li> </ul>
		連携施設	連携施設で学習面、生活面の支援が適切かつ十分に行われているか。また、それが事業報告書に記載されているか。連携施設の名称は適切に改められたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携施設では、面接指導等は行わず、本校教職員による学習支援、課外活動等が適切に行われている。学習支援、課外活動等の内容については一層の充実の余地がある。</li> <li>連携施設の名称を「ルネサンス高等学校連携新時代タネキャンパス」に改めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携施設における学習支援、課外活動等の内容の不断の充実を図る。</li> </ul>
危機管理	役割分担	事故・災害などに対する教職員の連携及び役割分担が明確になっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係各所(警察・消防・学校面など)の連携はとれており、事件・事故・災害などの際の対応体制も整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を学校安全計画に位置づけ、生徒が体験的に理解できるように計画的に実施し、万が一の災害等に備える。</li> </ul>	
	安全管理	安全な学習環境づくり(校舎内外の安全点検管理及び諸活動)を推進しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害等に備え、教職員だけでなく生徒も参加した避難訓練を計画し実施していく必要がある。</li> </ul>		
	危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、町役場、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理意識を高めるために半年に1度、全体会議を実施するとともに、町役場、警察、消防と一層の連携を図りたい。</li> </ul>	
	個人情報管理	生徒個人情報管理が適切に行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシーマークを取得している。</li> <li>個人情報管理に関する研修も定期的に行っており、生徒のプライバシーの確保を維持している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修体制をさらに整え、生徒個人情報管理の徹底を図りたい。</li> </ul>	
教育内容・支援	スクーリング参加状況	年間計画に基づいた実施と参加の促進が行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に基づいた実施ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正規模での実施に向けて、参加の一層の促進・調整を図る。</li> </ul>	
	面接指導・添削指導等	スクーリング内容(面接授業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目担当者が創意工夫を行い、生徒の興味・関心・意欲が高められる授業を展開しているか。</li> <li>少人数の科目についても充実した指導が行われているか。</li> <li>スクーリング実施日数を2泊から3泊にし、授業時間を40分から50分に充実させたことの結果は表れているか。</li> <li>一部に生じた体育の授業時間不足に対する改善は図られたか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価による評価結果に基づき、実施日程や面接時間等を再検討し、更なる顧客満足度を高めていくよう努める。</li> <li>複数科目をまとめて面接指導することなく、科目ごとに面接指導をおこなった。</li> <li>変更前より、授業の編成と展開に余裕ができ、かつ内容の充実も図ることができた。</li> <li>スケジュール作成・授業編成時にミスがないようシステム上でチェックが入るようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接授業を8割削減時間から6割削減時間数にすることにより、教育内容の一層の充実を図る。</li> <li>精神的及び学力的に不安のある生徒については特に、担任・各科目担当教員を中心に、全職員で連携し、よりきめ細やかに支援できる体制をさらに整備していく。</li> <li>生徒の就学状況・履修状況に応じて、スクーリングをより柔軟に編成する。</li> </ul>
		レポート内容・添削	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心・意欲が高まるよう教材の内容を工夫するとともに、複数メディア導入に伴う生徒の学習成果の確認を的確に行っているか。</li> <li>また、インターネットを活用した添削指導に遅延がないよう、計画的に業務を行っているか。</li> <li>生徒一人ひとりの学習状況に応じた解説を加えた指導を行っているか。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを含む学習内容は、生徒の学習成果(興味・意欲・関心)が上がるよう細やかな改善に努める必要がある。</li> <li>添削指導に遅延がないよう計画的なメールアナウンスがなされている。</li> <li>生徒一人ひとりの学習状況に応じた解説を加えた指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア学習の内容を、生徒の学力に合った、より適切なものへと不断に改善していく。また、全てのメディアについて、計画的かつ継続的な学習・十分な視聴時間を確保する。</li> <li>レポート添削については、択一問題で不正解になったレポートに対する個別解説や指導を充実させ、より生徒一人ひとりの習熟状況に応じたものにしていく。</li> </ul>
	試験	試験の実施	学習成果が適切に評価できる時期に試験を実施するとともに、問題内容の改善を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>(4月生の)スクーリングを11月以降に実施し、また試験をスクーリングの最終日(第4日目)に実施することで、試験より適正な時期に実施できるようになった。</li> <li>また、試験時間を1時間増やすことで、より適切で余裕を持った試験の実施が行えるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の就学状況・履修状況に応じて、試験がさらに適正な時期に実施できるようスクーリング時期を設定するよう努める。</li> </ul>
情報発信	ネット回線の有効活用	本校独自でネット開設している連絡・学習サイト「マイページ(通称)」にて、タイムリーな情報提供を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記「マイページ」により、学校イベントなどの情報提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の事務的な情報提供だけでなく、ブログ等のSNSを活用し、学校の雰囲気をつかむことができるツールを活用していく。</li> </ul>	
	個人に対する効果的な情報提供	上記「マイページ」にて、生徒及び保護者が、学習進捗の確認や各分野毎(連絡など)の情報が閲覧できるようになっているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な発行物「ルネ高通信」を自宅に発送し、生徒だけでなく、保護者にも情報提供を行っている。</li> </ul>		
	情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の教科を中心に常に進化している「ネット社会の実態」について重点を、タブレット(Pad等)を使用しながら取り組んでいる。また、インターネットにおける若年者のトラブル・危険性についても理解を深める授業をまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報ツールを活用したコミュニケーション方法を通して、より活用能力を高めることができるよう努めている。また、継続してインターネットによるトラブル等について理解を促すよう努めている。</li> </ul>
生徒・進路・保護指導	生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度(進路卒業・進路決定)が高められているか。	A		
		教員の共通認識と研修	学校組織に基づき、生徒が安全に諸活動ができるよう共通認識のもと、運営されているか。また、生徒の実態に応じたテーマについて、計画的な教員研修を実施しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリング時の生徒指導については、教職員間で連携を取りながら対応できている。</li> <li>生徒在宅時については保護者に任せられる部分が多いと云わざるを得ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等の活用のほか、定期的な発行物「ルネ高通信」や、インターネット上の生徒への連絡・学習サイト「マイページ」を通じ、組織的な生徒指導の更なる充実を図る。</li> <li>外部機関との連携を強化し、より質の高い生徒対応ができるよう努める。</li> </ul>
	家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活を送れるよう支援しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭との連携については、担任が電話・メール・SNS等を活用し、連絡・意思の疎通に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに関する研修等の充実を図る。</li> </ul>	
	いじめ等の問題行動の未然防止	すべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、基本方針に基づき、いじめ対策委員会が設置され、適切に運営されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ対策委員会を適切に運営し、いじめ防止に努めた。</li> </ul>		
進路指導	キャリア教育	生徒一人ひとりの状況に即し、主体的な進路選択に結びつく適切な指導をしているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望進路実現(進学・就職)に向け、計画的に実施している。</li> <li>試験対策指導(筆記・面接など)の更なる強化が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路について、担任一人ひとりが最新情報を共有し、進路指導主事による支援のもと、適切な進路指導を行える体制を整える。</li> </ul>	
	保健指導	健康の保持増進	生徒が心と体の健康を自ら管理できる知識と実践力を育成しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクーリングの特別活動(健康)にて、生徒の健康管理、生活習慣、健康増進に向けた取り組みを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅時の健康保持増進を生徒に平素から呼びかけるほか、生徒本人・保護者から生活状況・健康状態を報告願う仕組みを作りたい。</li> </ul>
その他	学校関係者評価	「大子町通信制単位制高等学校協議会」ほか学校関係者による評価・それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通じ、開かれた学校づくりが進められているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価活動を通じたコミュニケーションにより、保護者や地域住民などとの学校が、お互いに理解を深めることに努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より充実した関係者評価を実施し、その公表に努める。もって教育の質の向上、学校運営の改善に努める。</li> </ul>	
	教職員研修	教職員が計画的に校内研修に参加できる習慣や体制が整備されているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修(生徒指導)のほか、県主催研修への参加者による伝言会にて共有を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の実施回数を更に増やし、教職員のスキルアップを図る。</li> </ul>	
	他校及び関係機関との連携	姉妹校(豊田大・大阪校)や県私学通信制定時制高等学校連絡協議会加盟校と、通信制高校の在り方などについて情報交換等を行い、学校全体の教育力を高めることに努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹校があることのメリットを最大限に活かし、更なる教育力の向上を図りたい。</li> <li>県私学連絡協議会に欠かす参加し、情報交換等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹校との連絡を密にとり、運営方法全般に関する事例等を共有できる仕組みづくりをさらに整えていく。</li> </ul>	

校長 教頭 事務長

